

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 16 日作成)

委員会名	力学教育検討小委員会	主 査 名：和田 章
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (応用力学運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：上谷宏二
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	建築教育の中で、建築骨組の力学の教育は重要な位置を占めている。実社会における構造設計活動では、コンピュータソフトが用いられており、手計算による計算法の習得を目的としていた構造力学の教育法の見直しが必要である。建築学科において骨組の力学を教えるさいに重要な事柄を纏める。	
委員構成 (委員名 (所属))	主査：和田 章 委員：上谷宏二・和泉正哲・高田毅士・塩原 等・山川哲雄・薛 松濤	
設置 WG (WG 名：目的)		
2003 年度予算	140,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	本格的な活動は 2004 年に入ってから開始したため、成果はまだ得られていない。
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)
	委員会 HP アドレス：
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係)
その他評価すべき事項	